令和7年度農泊 in オーガニックビレッジ業務委託仕様書

1 業務の名称

令和7年度農泊 in オーガニックビレッジ業務

2 委託期間

契約締結日から令和8年2月27日（金）

3 業務目的

群馬県では、「農泊」の推進にあたり、県内各地域に魅力的な農泊地区があることを目指している。そこで、群馬県で本格的に推進している「有機農業」の魅力を活かした新たな農泊モデル「農泊 in オーガニックビレッジ」の創出を令和6年度から行っている。

「農泊 in オーガニックビレッジ」とは、地域ぐるみで有機農業に取り組む「オーガニックビレッジ」に宿泊滞在して、有機農業体験や有機農産物の食事・買物、そして観光を提供する農泊モデルである。

本業務においては、「農泊 in オーガニックビレッジ」をテーマとするモニター農泊ツアーを開催し、ツアーの商品造成を行うことで県内外に広く魅力発信を行い、将来的な観光コンテンツとしての定着を目指すものである。

4 委託業務の内容

- (1) モニター農泊ツアー実施業務
- (2) ツアー商品造成業務

5 モニター農泊ツアー実施業務

(1) モニター農泊のプラン作成

地域ぐるみで有機農業に取り組む「オーガニックビレッジ」に宿泊滞在して、有機農業体験や有機農産物の食事・買物、そして観光を提供するモニター農泊のプランを作成する。

(2) モニター農泊開催

ア 実施内容

- ・実施回数 2回
- ・モニター 有機農業や有機農産物に興味を有する者又は農泊・グリーン・ツーリズムなどの農村滞在型観光に興味を有する者
1回の実施につき、8名以上（18歳未満の場合、18歳以上の保護者同伴であれば参加可）
- ・実施場所 甘楽郡甘楽町及び利根郡みなかみ町 地内（隣接市町村含む）
※甘楽町は令和5年10月、みなかみ町は令和7年3月に「オーガニックビレッジ宣言」を行った。
- ・実施日数 1泊2日／回（※開催時期は県と協議の上、決定）
- ・必須プログラム等…モニターが必ず行う体験等
 - ①有機農業体験 … 体験農家との交流や有機農業への理解と興味が深まる体験
 - ②有機農産物の食に関する体験 … 県産有機農産物を主体とした料理体験等
 - ③宿泊 … 事業実施地域内の宿泊施設
 - ④意見交換会 … モニター、体験農家、施設関係者、自治体職員等による
 - ⑤アンケート … モニターを対象とした農泊の評価に係るアンケート
- ・その他のプログラム…地域の特色を活かした農村文化体験や自然景観・観光施設又は文化施設における観光等
- ・受託者は、意見交換会に出席するモニター以外の体験農家等参加者への連絡調整を行う。

イ 農泊モニター選定等

- ・モニター選定に係る広告をチラシ作成等の一般的な広報に加え、SNS（Instagram等）で

も行う。

- ・有機農業や有機農産物に興味を有する消費者又は農泊・グリーン・ツーリズムなどの農村滞在型観光に興味を有する者を対象にモニターを選定する。
- ・モニター対応（集合出発等実施内容の案内作成・送付、問合せ対応）を行う。
- ・宿泊等に付随する体験や見学の実施に必要な手続きやインストラクター等を確保する。

ウ モニター参加者の安全確保

- ・訪問先との事前打合せや、現地確認を行いコンテンツやルート等に関する安全対策を行い、モニター参加者及び関係者の安全確保を徹底する。
- ・受託者は、モニター参加者を旅行保険に加入させる。
- ・飲食物等の衛生管理を徹底するほか、参加者自身のアレルギーに関しても 事前確認を行い、適切に対応する。

エ 実施計画

- ・モニター選定の前に、モニター農泊ツアーの実施内容を県と協議の上、実施計画としてまとめること。

オ その他

- ・農泊モニターツアーの実施に必要な業務一式を行う。
- ・旅行業法を遵守の上、実施すること。

6 ツアー商品造成業務

- (1) 5で実施するモニター農泊ツアーについて、評価と課題を整理し、地元関係者（行政、農家、事業者等）や観光旅行会社（受託者含む）とともにツアー商品プラン（原則宿泊を伴うものとする）を造成すること。
- (2) 県の承認を得た販路にて継続的に販売できる体制を検討すること。
- (3) 令和8年度中にツアー商品の販売を開始するよう努めること。
なお、販売が難しい場合は、明確な理由を示した上で県に報告し、県の指示に従うこと。

7 費用と参加者負担等

- ・食事代、景品類配布に関する経費、菓子折や各種金券などによる謝礼、施設整備、機械器具及び備品代は、委託費に含めることはできない。ただし、体験プログラムの中で提供されるものについては委託費に含めることができる（例：料理教室体験で作った料理の飲食費等）。
- ・宿泊代については、委託費に含めることができる。食事付きプランでの宿泊の場合は、素泊まりにおける宿泊代のみ委託費に含めることができる（食事代は委託費から除外し、参加費から充てること）。
- ・適切なモニター参加者負担金を設定し、徴収すること。なお、委託費に含めることができる経費についても、参加者から徴収することができる（例：宿泊費1万円の場合、1万円全てを委託費から出すこともできるが、5千円を委託費、5千円を参加費として徴収することもできる。）。

8 成果品

(1) 実績報告書

ア 実施状況報告及び記録写真

モニター農泊：5（2）①～⑤の実施状況等を項目毎に簡潔にまとめるほか、農泊実施に使用又は配布した資料等を整理して添付する。

イ 農泊ツアー商品プラン

令和8年度において、ツアーの商品化を行うための具体的な実施計画を作成する。

以下の項目は必ず記載すること。

- ① 実施時期、実施頻度及び販売ルート（旅行会社、OTA など）
- ② ツアーの目的・背景
- ③ ターゲット層（年齢層、家族構成、地域（首都圏など））
- ④ ツアーコース

- ⑤ 予算概算（費目ごとの内訳（交通費、体験費、謝金、宿泊費、保険料など））
- ⑥ 関係者一覧（実施体制図（主催・協力・支援団体の役割分担））

ウ 仕様・部数

- ・電子データ
- ・電子データについては、基本的には以下のファイル形式とし、記録媒体に保存して、報告書に添付する。

記録写真：jpg 形式

その他：pdf 形式

なお、Word・PowerPoint・Excel で作成した資料は原稿ファイルも提出

(2) 納期

令和8年2月20日（金）

(3) 成果品の帰属

実績報告書にかかる著作権は、原則としてすべて群馬県に帰属するものとする。

9 委託業務内容の変更等

本仕様書に示す内容のうち、数量等が未確定な部分や詳細内容について、契約締結後に見直す場合には、事前に委託者と協議の上で、内容や金額の変更について決定する。

10 その他

- (1) 受託者の責めに帰すべき理由によらない実施の取消によって生じる取消料・違約金については、委託料から充当する。
- (2) モニターの参加取消によって生じる取消料・違約金のうち、受託者の責めに帰すべき理由によらず参加料を超える部分が生じた場合については、委託料から充当する。
- (3) 委託者は、必要に応じて、受託者に事業内容について指示する。
- (4) 業務の遂行にあたり、発生した事故等については、受託者の責任において対処する。
- (5) 事故等により発生した損害は受託者が負担する。ただし、その損害が県の責めに帰すべき事由により発生したと認める場合は県が負担するものとし、その額は県と受託者で協議して決定する。
- (6) 本業務を遂行する上で知り得た情報・秘密については、県の承認を得ることなく第三者に漏らしたり、委託業務以外の目的に使用したりしてはならない。委託期間が終了し、または委託契約が解除された後においても同様とする。